

「6 とつぜんおそう 風水害」

- 学習のねらい：1. 竜巻、突然の大雨、雷が突然起こり、自分の身の回りに起こる危険を知る。
2. 竜巻、突然の大雨、雷からの適切な身の守り方を知る。

(指導上のポイント)

◆児童が危険と考えた理由についても発表させる。

◆各自が学校にいる時や登下校時、外出時のよく行く場所で、竜巻が発生したら、どのような危険が発生するかを考えさせる。

◆下記に記載した竜巻から身を守る方法について指導する。

◆竜巻が発生する予兆現象を指導する。

- ・ 「低く黒い雲（積乱雲）が接近する」「雷光が見えたり雷鳴が聞こえたりする」「急に冷たい風が吹き出す」、「急な雨やひょうが降る」など

◆竜巻の特徴は、移動するスピードは自動車（平均時速 36 km）のようにとても速く、進む方向が急に変わることがある。また、竜巻が複数発生することもあり、竜巻に気付いた時に何もしないでずっと見ていることは危険であることを指導する。

6 とつぜんおそう 風水害

(1) たつまきで きけんなこと

たつまきにおそわれたら、どんな きけんな ことが おこるでしょうか？
下の えと しゃしんをみて かんがえて みましょう。



建物の倒壊、屋根瓦の飛散、
電柱や樹木の倒壊、飛来物の
衝突 等

【たつまきで おこったこと】
ちらはった つくえ



たつまきから みをまもるには

いえに
いるとき ●まどの ちかくからはなれる。
●じょうぶな つくえの 下にかくれ、
りょう手で あたまを まもる。

そとに
いるとき ●じょうぶな たてものにひなんする。
●ずいりやくぼんだとこに みをふせ、
りょう手で あたまを まもる。



とばされたやねがわら



13

【参考サイト】

・ 気象庁 HP【防災啓発ビデオ
「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」】
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/book/s/cb_saigai_dvd/

◆○×テストを行う。

下記の質問に○×で答えさせる。

Q：竜巻がきたら、すぐに頑丈な建物に避難する。

A：○ 竜巻に吹き飛ばされないから。

Q：竜巻がきたら、窓から離れたところに行く。

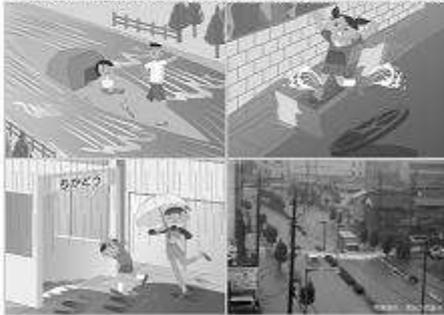
A：○ 窓を突き破って物が飛んで来て危険だから。

Q：竜巻が近づいてこないかどうかを窓から見続ける。

A：× 窓ガラスが割れて飛び散るとあぶないから。

(2) とつぜんの大雨で きけんなこと

とつぜんの大雨におそわれたら、どんなきけんなことがおこるでしょうか？
下の えとしゃしんをみて かんがえて みましょう。



とつぜんの大雨から みをまもるには

- すぐに川からはなれる。
- ちかどうやちかしつには
はいらない。
- 水のついた
どうるでは、
足もとに
ちゅうりする。



急な河川の増水で中州に取り残される、側溝に足をとられる、マンホールに落ちる、地下街に水が流れ込む 等

(3) かみなりで きけんなこと

いえのそとで かみなりにおそわれたら、どんなきけんなことがおこるでしょうか？
下の えとしゃしんをみて かんがえて みましょう。



かみなりから みをまもるには

- かみなりがなったら すぐに
ひなんする。
- 木や でんちゅうからはなれる。
- たてもものや じどうしゃの中に
ひなんする。
- ひなんする ばしよがないときは、
しせいをひくくする。



近くの木に雷が落ちる、外で遊んでいる人に雷が落ちる

14

【突然の大雨エピソード】

平成 20 年 7 月 28 日、近畿地方では、日本海南部にある前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込みやすい状態となり、大気の状態が不安定となっていた。兵庫県南部では、雷を伴った大雨となり、14 時から 15 時の解析雨量（レーダーと雨量計による解析）は、神戸市付近で約 60mm の非常に激しい雨となった。

この大雨の影響で、神戸市灘区都賀川^{とががわ}では、急激な増水のため（14 時 40 分から 10 分ほどで約 1.3m の水位上昇）、河川内の親水公園で遊んでいた人たちが流され、そのうち 5 名が亡くなった。

当日、気象台は、13 時 20 分に大雨・洪水注意報、13 時 55 分に大雨・洪水警報を発表していた。

（指導上のポイント）

◆児童が危険と考えた理由についても発表させる。

◆各自が登下校時、外出時のよく行く場所で、突然の大雨が発生したら、どのような危険が発生するかを考えさせる。

◆左記に記載した突然の大雨から身を守る方法について指導する。

◆〇×テストを行う。

下記の質問に〇×で答えさせる

Q：雨が止むまで橋の下で待つ。

A：× 急に川の水が増えて危険だから。

Q：大雨の中を走って帰る。

A：× 車にぶつかる危険がある。道路の側溝などに落ちる可能性がある。

Q：近くの建物の 1 階以上の場所で雨宿りする。

A：〇 雨や雷をさけて、安全に過ごすことができるから。

（指導上のポイント）

◆上記と同様

◆〇×テストを行う。

下記の質問に〇×で答えさせる

Q：大きな雷の音が近づくまでは、ようすを見る。

A：× 雷の音が遠くでなっている、次の雷は今いる場所に落ちる可能性があるから。

Q：雷が光ってから音がするまで 10 秒以上なら大丈夫である。

A：× 秒数にかかわらず、音が聞こえたらすでに安全ではないから。

（確認）

突然おそう風水害の危険を知り、身を守るための方法を理解できたか。